

平成26年度

単位施策評価表

所属 22600000

保健福祉部 地域医療対

施策	4101 地域医療の充実							
区分	妥当性	妥当	コスト削減の余地	無	受益者負担	適正		
	上位貢献度	有効	類似事業の有無	無	成果向上の余地	有		
対象	市民							
施策が目指す姿	地域の医療機関や中核病院等の充実、地域拠点等における医療福祉機能などの充実、かかりつけ医の普及・啓発、市民への適正受診の普及啓発を図る。							
成果指標	人口10万人当たりの医師数...5年間(平成25年度～平成29年度)で150人(現状値119人)							
目 標 達 成 状 況			平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	成果指標1 [人]	予定	119.00	119.00	119.00	150.00	150.00	
		実績	119.00	119.00				
	成果指標2 []	予定						
		実績						
	成果指標3 []	単位コスト						
		予定						
	成果指標4 []	実績						
		単位コスト						
	トータルコスト (千円)	予定	1,837,038	2,632,981	0	0	0	
実績		1,515,871	2,532,577			0		
内 部 評 価	貢献度	上位施策の「地域医療の市民満足度」等を向上させるためには、医療機関等の充実により医師の確保を図ることが重要であることから本単位施策の目標達成による貢献度は高い。						
	達成状況	とちぎメディカルセンターの整備・運営に対する支援や、医療福祉モールへの医療機関の誘致により、医師確保の環境は整いつつある。						
	課題	地域医療の充実を図る上で、とちぎメディカルセンター整備等の支援や医療福祉モールの用地販売を進め、事業を早期完了させることが必要となっている。						
	取組方針	とちぎメディカルセンターや医療福祉モールの整備はもとより、県や大学病院等とも連携して、医師の確保を図りたい。						
外 部 評 価	成果指標が医師数だけでは分かりづらい。診療科ごとの目標を定めるなど工夫されたい。とちぎメディカルセンターしもつがの開院に伴い、多くの方が診察を希望し混雑することが予想される。しかし、とちぎメディカルセンターしもつがは、二次救急医療に対応する病院であることから、地域の救急医療体制の確保のためにも、市民に対しかかりつけ医の普及啓発並びに適正受診の普及啓発を図られたい。また、今後はますます高齢者が増えることから、訪問介護やリハビリなどの在宅医療にも力を入れるべきである。さらに、個々の診療結果や薬の処方状況などの医療情報の共有化を図ることで、どの医療機関でも適切な診療が受けられるよう、更なる医療の充実を期待する。							
単 位 施 策 達 成 の た め の 事 務 事 業	事業コード	名 称				トータルコスト(千円)	達成度	
	273201	地域医療対策基金積立金				606,449	100	
	273301	栃木地区病院統合再編事業費				1,515,704	100	
	273401	とちぎメディカルセンター運転資金貸付金				351,500	100	
	273001	地域医療対策室一般経常事務費				1,505	1	
	437002	市債償還元金				40,086	1	
	437102	市債償還利子				2,098	1	
	437402	医療福祉モール管理費				13,601	1	
	438101	医療福祉モール特別会計繰出金				1,634	1	

事

様式 1

栃木市事務事業評価表

平成 26 年度

会計	一般	款項目	040101	予算事業コード	273301	事業区分	02	政策的事業	新規/その他	2	その他	基本施策		単位施策		
事業名	栃木地区病院統合再編事業費										主	4101	医療体制の充実		地域医療の充実	
担当部課 係・担当チーム名	保健福祉部 地域医療対 地域医療対策担当					担当者	松本 佳久			従						
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等								事業期間	H23 ~ H29 年度		全体事業費 (人件費除)	3,700,000	千円
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成31年度)までに、誰(何)を、どうの方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) 栃木地区3病院(下都賀総合病院、下都賀郡市医師会病院、とちの木病院)の統合再編及び第1病院(仮称)の建設整備に対して市が支援を行う。 【主要事業】										達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成31年度)の目標) 3病院の統合再編及び第1病院(仮称)の建設整備が完了し、地域医療の充実が図られる。				
											成果目標	人口10万人当たりの医師数...5年間(平成25年度~平成29年度)で150人(現状値119人)				

単位：千円、人		平成25年度決算額	平成26年度決算見込							
事業費・指標の推移	国庫支出金	0	0	事業の内容 平成25年度 【事業の内容】 ・第1病院(仮称)の建設用地の確保、造成を実施する。 ・一般財団法人とちぎメディカルセンターへ施設整備補助金を交付する。 【成果】 ・第1病院(仮称)の建設用地の確保、造成が完了した。 ・一般財団法人とちぎメディカルセンターが第1病院(仮称)の建築工事に着手した。						
	県支出金	0	0							
	地方債	0	0							
	その他特財	975,336	1,505,204							
	一般財源	0	0							
	事業費 a	975,336	1,505,204							
	人件費 b	18,000	10,500							
減価償却費 c	0	0	事業の内容 平成26年度 【事業の内容】 ・一般財団法人とちぎメディカルセンターへ施設整備補助金を交付する。 【成果】 ・法人への補助金交付により、施設整備を支援した。 ・第1病院(仮称)建設用地借地料の支払いを行い、新病院整備事業を支援した。							
総事業費 a+b+c	993,336	1,515,704								
結果指標 1	31.60	72.35			指標名	算出方法	単位			
結果指標 2					事業進捗率	(実施事業費累計/全体事業費)×100 H26目標値：73.00%	%			
					妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地
					妥当	無	適正	有効	無	有
					事業の事後評価					

事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入)					
	平成25年4月1日に一般財団法人とちぎメディカルセンターが設立され施設整備等を進めている。平成28年4月には新しい医療体制での診療が開始されることから、市も新法人と連携を図りながら積極的に支援を行う。					

事後評価備考						
--------	--	--	--	--	--	--